

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月7日

上場会社名 株式会社 なとり

上場取引所 東

コード番号 2922 URL http://www.natori.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理本部長

(氏名) 小林 眞

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成20年11月14日

配当支払開始予定日

平成20年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	15,042	—	214	—	221	—	42	—
20年3月期第2四半期	15,616	△1.2	425	△32.8	443	△31.7	275	△15.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第2四半期	2.86	—	—	—
20年3月期第2四半期	18.74	—	—	17.71

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
21年3月期第2四半期	23,224	—	14,103	—	60.7	—	953.42	
20年3月期	23,954	—	14,334	—	59.8	—	952.91	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 14,103百万円 20年3月期 14,334百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	6.00	—	6.00	—	12.00
21年3月期	—	6.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	6.00	—	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	31,000	△1.4	690	△22.7	700	△23.2	410	△21.5	27.72	—

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 15,532,209株 20年3月期 15,532,209株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 739,478株 20年3月期 489,458株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 15,012,684株 20年3月期第2四半期 14,674,605株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・上記に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期においては、国際的な金融資本市場の混乱や原油・原材料価格の高騰などにより国内景気は減速感をさらに増しながら推移いたしました。

また、個人消費におきましても、所得の伸び悩みに加え、食品をはじめとする生活必需品の価格が上昇したことで生活防衛の意識が強まり、購買マインドは低調なまま推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、当連結会計年度（平成21年3月期）より新たな中期経営計画「イノベーション63～新生なとりへの道～」をスタートさせ、4つの経営目標「新たなおつまみ市場の創出」「自己革新による収益力の強化」「グローバル化の一層の推進」「社会的責任～安全・品質・環境～の重視」を具体化し目標の達成に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上高の状況は、主力のいか製品やチーズ製品、新たに発売した「いかの焙り焼き」「まぐろ照り焼き」などのレトルト製品や「ねり飴こんぶ」「ねり飴こんぶ黒糖」などの素材飴製品が堅調に推移いたしました。また、原材料高騰に対応した製品規格の見直しに伴う売上の減少、中国問題によるいか以外の水産加工製品の一部や梅・栗製品などの売上減少、一部取引先での一時的な売上の落ち込みなどがあり、また、畜肉加工製品の新製品投入に遅れがあり減収となりました。

なお、平成19年2月より所有不動産を有効活用するために賃貸事業を開始しており、当第2四半期連結累計期間においては、32百万円の売上を計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、150億42百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

製品群別の売上高の状況は、下記の通りであります。

期 別 科 目		当四半期累計		前四半期累計		差引増減額・率	
		平成21年3月期	第2四半期	平成20年3月期	第2四半期	増減額	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
珍味売場	水産加工製品	7,996,504	53.2	8,314,163	53.2	△317,658	△3.8
	畜肉加工製品	2,178,869	14.5	2,289,296	14.7	△110,427	△4.8
	酪農加工製品	1,858,156	12.3	1,772,209	11.4	85,947	4.8
	農産加工製品	503,686	3.3	468,280	3.0	35,406	7.6
	すなっくな珍味製品	9,901	0.1	34,226	0.2	△24,325	△71.1
	その他製品	1,057,049	7.0	1,078,096	6.9	△21,047	△2.0
	計	13,604,168	90.4	13,956,272	89.4	△352,103	△2.5
珍味外売場	小物菓子製品	339,765	2.3	484,701	3.1	△144,935	△29.9
	素材菓子製品	815,883	5.4	858,600	5.5	△42,716	△5.0
	チルド製品	250,757	1.7	282,933	1.8	△32,175	△11.4
計	1,406,407	9.4	1,626,234	10.4	△219,827	△13.5	
珍味売場・珍味外売場・計		15,010,575	99.8	15,582,507	99.8	△571,931	△3.7
賃貸収入		32,261	0.2	33,779	0.2	△1,518	△4.5
売上合計		15,042,836	100.0	15,616,286	100.0	△573,449	△3.7

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。

利益面では、原油高騰を受けた工場動力燃料費の増加や子会社における原材料価格高騰により売上総利益が47億84百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

販売費及び一般管理費は、得意先の要望に対応するための物流費用の増加や規格変更製品導入に伴う販売促進費の増加などにより45億70百万円（同1.1%減）となり、営業利益2億14百万円（同49.7%減）、経常利益2億21百万円（同50.1%減）とともに減益となりました。

当第1四半期に、当社所有地の有効活用を図るため、既存建物の除却として1億37百万円を特別損失で計上しており、第2四半期連結累計期間の四半期純利益は42百万円（同84.4%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の連結総資産は232億24百万円（前連結会計年度末比7億30百万円減）となりました。

資産の部では、機械及び装置や建設仮勘定、投資有価証券が増加しておりますが、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少、建物及び構築物の除却及び償却により総資産が減少いたしました。

負債の部では、長期・短期借入金や未払金の減少、支払手形及び買掛金の増加などにより負債合計は91億20百万円（前連結会計年度末比4億99百万円減）、純資産の部では自己株式の買取があり、前連結会計年度末比2億30百万円減少し、141億3百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末比0.9ポイント増の60.7%となっております。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し、6億28百万円となりました。

各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、11億59百万円となりました。主な資金の増加要因としては、非資金損益項目である減価償却費3億2百万円及び固定資産除却損1億40百万円に加え、売上債権が2億7百万円減少、仕入債務が3億36百万円増加、未払消費税等が1億47百万円増加したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス2億8百万円となりました。これは主に、工場における生産設備の購入等で有形固定資産の取得による支出が1億89百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス10億49百万円となりました。これは主に、長期・短期借入金が7億61百万円減少したこと、自己株式の取得により1億98百万円の支出があったことによるものです。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期第2四半期	1,159	△208	△1,049	628
20年3月期第2四半期	257	△541	△355	1,059
前年同期比増減	902	333	△694	△431
20年3月期	△430	△1,341	801	726

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	31,000	(△1.4)	690	(△22.7)	700	(△23.2)	410	(△21.5)

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

通期の連結業績見通しにつきましては、好調なアイテム群の拡販や積極的な新製品開発を進め、同時にチーム編成によるPB製品への対応とそれを起点としたNB製品シリーズのシェア拡大、生産性向上やコスト削減を目的とした製品アイテムの削減、効率的な営業戦力の再配置、得意先のニーズに十分な対応ができる営業体制の整備や充実、製造処方や生産工程の見直しなどによる業務のスピード化に努め、収益力の向上を目指してまいります。

なお、平成20年10月24日に平成21年3月期連結業績予想の修正を行っております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ1,321千円減少しております。

(4) 追加情報

法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号）に伴い、法定耐用年数及び資産区分が見直されたことにより、第1四半期連結会計期間より機械及び装置の主な耐用年数を8～9年から10年に変更しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ6,320千円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	935,854	1,033,854
受取手形及び売掛金	4,439,492	4,646,894
商品及び製品	620,896	711,518
仕掛品	469,737	488,197
原材料及び貯蔵品	3,331,834	3,251,204
その他	356,856	524,718
貸倒引当金	△12,415	△13,591
流動資産合計	10,142,255	10,642,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,388,462	6,724,963
土地	※1 4,265,148	※1 4,268,486
その他（純額）	857,298	770,387
有形固定資産合計	※2 11,510,910	※2 11,763,837
無形固定資産	154,321	133,157
投資その他の資産	※3 1,417,187	※3 1,415,184
固定資産合計	13,082,418	13,312,179
資産合計	23,224,674	23,954,976

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,176,112	2,823,814
短期借入金	2,053,000	2,664,000
1年内返済予定の長期借入金	300,668	300,668
未払法人税等	101,474	177,067
賞与引当金	383,110	290,394
役員賞与引当金	5,000	14,000
その他	1,039,504	1,178,293
流動負債合計	7,058,870	7,448,238
固定負債		
長期借入金	1,150,985	1,301,319
役員退職慰労引当金	236,860	203,710
退職給付引当金	24,285	23,056
負ののれん	29,860	34,941
その他	620,074	609,267
固定負債合計	2,062,066	2,172,295
負債合計	9,120,936	9,620,534
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,938	2,290,938
利益剰余金	10,449,049	10,496,424
自己株式	△630,291	△432,025
株主資本合計	14,084,821	14,330,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,915	3,979
評価・換算差額等合計	18,915	3,979
純資産合計	14,103,737	14,334,441
負債純資産合計	23,224,674	23,954,976

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	15,042,836
売上原価	10,257,868
売上総利益	4,784,968
販売費及び一般管理費	※1 4,570,740
営業利益	214,227
営業外収益	
受取賃貸料	20,211
その他	31,167
営業外収益合計	51,379
営業外費用	
支払利息	25,903
賃貸原価	18,049
その他	393
営業外費用合計	44,346
経常利益	221,261
特別利益	
固定資産売却益	16,687
貸倒引当金戻入額	501
特別利益合計	17,188
特別損失	
固定資産除却損	140,361
減損損失	1,324
特別損失合計	141,686
税金等調整前四半期純利益	96,763
法人税等	53,881
四半期純利益	42,882

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	96,763
減価償却費	302,694
減損損失	1,324
負ののれん償却額	△5,080
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△610
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92,716
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	33,150
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,228
受取利息及び受取配当金	△8,867
支払利息	25,903
固定資産売却損益 (△は益)	△16,687
固定資産除却損	140,361
売上債権の増減額 (△は増加)	207,512
たな卸資産の増減額 (△は増加)	51,114
仕入債務の増減額 (△は減少)	336,183
未払消費税等の増減額 (△は減少)	147,108
その他	△101,266
小計	1,294,548
利息及び配当金の受取額	8,880
利息の支払額	△21,766
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△121,952
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,159,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△189,635
有形固定資産の売却による収入	30,104
投資有価証券の取得による支出	△14,748
その他	△34,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,322
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△611,000
長期借入金の返済による支出	△150,334
自己株式の取得による支出	△198,266
配当金の支払額	△89,789
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,049,389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△98,000
現金及び現金同等物の期首残高	726,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 628,837

第1四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社及び連結子会社は、食品製造販売事業を主な事業内容としており、当該事業区分の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社は、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を行いました。この取得により、当第2四半期連結会計期間において自己株式が198,250千円(250,000株)増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が630,291千円(739,478株)となっております。

「参考情報」

前中間連結財務諸表等

(1) 前中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金 額
I 売上高	15,616,286
II 売上原価	10,567,051
売上総利益	5,049,234
III 販売費及び一般管理費	4,623,282
営業利益	425,952
IV 営業外収益	
1. 受 取 利 息	948
2. 受 取 配 当 金	7,317
3. 受 取 賃 貸 料	15,308
4. 負ののれん償却額	6,247
5. そ の 他	20,334
営業外収益合計	50,157
V 営業外費用	
1. 支 払 利 息	17,452
2. 賃 貸 原 価	13,032
3. そ の 他	2,162
営業外費用合計	32,647
経常利益	443,462
VI 特別利益	
地域雇用奨励金	5,000
特別利益合計	5,000
VII 特別損失	
1. 固 定 資 産 売 却 損	7
2. 固 定 資 産 除 却 損	11,056
3. 投資有価証券評価損	7,011
特別損失合計	18,076
税金等調整前中間純利益	430,386
法人税、住民税及び事業税	240,416
法人税等調整額	△85,065
中間純利益	275,035

(2) 前中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区 分	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税金等調整前中間純利益	430,386
2. 減価償却費	263,069
3. 負ののれん償却額	△6,247
4. 貸倒引当金の増加額	16,293
5. 賞与引当金の増加額	125,425
6. 役員賞与引当金の減少額	△10,000
7. 役員退職慰労引当金の増加額	4,975
8. 退職給付引当金の増加額	1,219
9. 受取利息及び受取配当金	△8,266
10. 支払利息	17,452
11. 固定資産売却損	7
12. 固定資産除却損	11,056
13. 投資有価証券評価損	7,011
14. 売上債権の減少額	302,304
15. たな卸資産の減少額	134,436
16. 仕入債務の減少額	△247,872
17. 未払消費税等の減少額	△58,297
18. その他	△231,895
小 計	751,060
19. 利息及び配当金の受取額	7,962
20. 利息の支払額	△15,554
21. 法人税等の支払額	△501,830
22. 法人税等の還付額	15,953
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,590
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△521,104
2. 有形固定資産の売却による収入	57
3. 投資有価証券の取得による支出	△14,244
4. その他	△5,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△541,265
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. 短期借入れによる収入	160,000
2. 短期借入金の返済による支出	△330,000
3. 長期借入金の返済による支出	△97,534
4. 自己株式の取得による支出	△36
5. 親会社による配当金の支払額	△87,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355,265
IV. 現金及び現金同等物の減少額	△638,940
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,698,476
VI. 現金及び現金同等物の中間期末残高	1,059,535

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

当社及び連結子会社は、主に食品加工品事業を主な事業内容としており、当中間連結会計期間における当該事業区分の連結売上高及び営業利益は、いずれも全セグメントに占める割合が 90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前中間連結会計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日）

海外売上高はないため、該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
※1. 担保資産 担保に供されている資産で、事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものは、次のとおりであります。 土地 2,606,473 千円	※1. 担保資産 土地 3,272,710 千円
※2. 有形固定資産の減価償却累計額 10,066,212 千円	※2. 有形固定資産の減価償却累計額 9,886,910 千円
※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 47,172 千円	※3. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 46,606 千円

(四半期連結損益計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
※1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 販売促進費 915,841 千円 給与手当 1,365,167 千円 賞与引当金繰入額 215,153 千円 役員退職慰労引当金繰入額 33,150 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) 現金及び預金勘定 935,854 千円 預入期間が3カ月超の定期預金 <u>△307,016 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>628,837 千円</u>

(2) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における使用原材料別生産実績は、次のとおりであります。

区分	生産高 (千円)
水産加工品	4,876,415
畜肉加工品	1,515,711
酪農加工品	1,375,138
農産加工品	937,007
その他加工品	401,715
合計	9,105,988

(注) 1. 金額は、実際原価によるものであります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社グループ（当社及び連結子会社）は受注見込による生産方式をとっておりますので、受注高及び受注残高について記載すべき事項はありません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区分	販売高 (千円)	
珍味 売場	水産加工製品	7,996,504
	畜肉加工製品	2,178,869
	酪農加工製品	1,858,156
	農産加工製品	503,686
	すなっくな珍味製品	9,901
	その他製品	1,057,049
	小計	13,604,168
珍味外 売場	小物菓子製品	339,765
	素材菓子製品	815,883
	チルド製品	250,757
小計	1,406,407	
珍味売場・珍味外売場計	15,010,575	
賃貸収入	32,261	
合計	15,042,836	

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期連結会計期間	
	販売高 (千円)	割合 (%)
株高山	1,581,422	10.5

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。